

第2回鹿島市特別職報酬等審議会 議事要旨

開催日時 令和6年6月18日（火） 15:30～17:00
開催場所 鹿島市役所庁議室
出席委員 7名（1名欠席）
その他出席者 事務局（政策総務部長以下6名）

1 開会

2 追加配布資料の説明について

事務局より配布資料（資料3～6）の説明

3 審議

【主な質問・意見】

●議員報酬について

質問 議員の活動日数については、どれくらいあるのか。

回答 議会への出席などで支払われる費用弁償の昨年度の支払実績からすると平均して45日だが、費用弁償が支払われない委員協議会や視察研修などを含めると60日程度は議会活動してあるだろうと推察されます。ただし、議員個人としての活動の部分、例えば各種団体の会合やイベント等の出席がどの程度あるのかは市でも把握していません。それでも少なくともトータルで100日程度はあるのではないかと推察します。

意見 議員年金制度が廃止になったことで将来の心配もあって新たに議員を目指す人が出てこないのだと思う。また政務活動費についても、現在、国会議員の政務調査費の議論もあっておりタイミング的にも悪いと考える。また、そもそもの報酬についても引き上げが必要だと考える。しかし、すべてを一度にやることは費用の面から難しい。

意見 政務活動費については、きちっとした報告をしてもらって細かくチェックをするやり方にすれば、活動した人にはお金が使えて、活動しなかったらお金が使えないので、議員が一生懸命活動しているかどうかそれでわかる。

また、これらの議論は財源確保の面からも定数を含めた形で検討する

必要があるのではないかと考える。

意見 議員の報酬が結構厳しいという意見はありますが、職責を全うされているかというところと少し疑問点が残る。

意見 財政的に問題がなければ、世の中の流れとして上げる方向だと思う。

質問 視察研修費の予算を減額して、政務活動費創設の財源にはできないのか。

回答 視察研修費の予算総額として 374 万 7 千円程度とのことですが、これをどの程度まで縮減できるのかということになるかと思います。

●市長・副市長・教育長の給料月額について

意見 世の中の流れとしては上げる方向になるのではないか。

質問 他の自治体は何をもって判断されているのか。

回答 他自治体の答申を見ると財政状況や類似団体との比較を使っているところが多い印象はあります。また他にはこれまで以上に職責が重くなったというところで判断された例もあるようです。

意見 下げるという選択肢はないと思う。インフレを考えると 1 %～2 %の引き上げかなとも思うが、一律に率で考えるとバランスが難しい。

意見 年収ベースで考えると既に十分な給料をもらっているので引き上げる必要はない。

意見 教育長については、教員の働き方改革や不登校問題など課題が山積しており頑張ってもらいたい。市長・副市長は据え置きでいいが、教育長は引き上げたいと思っている。

意見 教育長については、以前から学校運営や社会教育面での問題解決を要望したが改善がなされていないので上げる選択肢はないと思っている。

●その他の事項に関する意見

意見 この審議会は平成 27 年以来の開催となったが、さすがに間が空きすぎたと思う。毎年開く必要はないが、今後は 2 年、3 年に一回開くという

ような定期の開催とすべきだと思う。

回答 他自治体でも、同じような意見がされている例もあり、事務局としてもご指摘の点は改善する必要があると考えております。何年に1回とするかは今後決めていく必要はありますが、最低でも任期中に1回は開く必要があると思っております。

6 その他

次回日程 7月8日（月） 15：30～

開催場所 鹿島市役所庁議室

7 閉会

- 閉会直後、1人の委員から質問が上がる。

質問 議員報酬について、直接議員に意見聴取ができないか。

回答 審議事項に関連して利害関係者に直接的に接触するのは好ましくないと考えています。また、一部の議員に意見を聴取した場合、その意見が全議員の意見を代弁しているのかという疑問点もあります。

これまで、審議会で議員の意見を聞くということは例がありませんが、審議のために必要であれば、議長あてに文書にて意見を求めてみてはどうかと考えます。

これについては次回の審議にて改めて議論をしていただきたいと思います。